MIYAZAWA KENNJI & NIIMI NANKICHI

賢治と南吉の語り

令和6年 6月 9日(日)

① 11:00 開演(10:30 開場)
② 14:00 開演(13:30 開場)

同じ内容を２回公演します。公演時間は約２時間です。

★ 会場 東京九段下 **鶴めいホール** （下図参照）
会場は音にこだわった木の椅子です。必要な方はクッション等お持ちください。

★ 会費 大人 **3,500** 円 ★ 定員各回 39 名 要予約
①お名前 ②電話番号 ③公演の時間④人数を明記し、下記アドレスへメールまたはお電話をお願いします。

★ 予約・お問合せ
赤木かん子オフィシャルサイト（埼玉福祉会） shohin-kanko01@saifuku.com
盛岡語りの会雪ぼっこ katari.yukibokko@gmail.com 090-6454-3124(19:00～21:00)

★ 主催 児童文学評論家 赤木かん子

★ 後援 宮沢賢治学会イーハトーブセンター 新美南吉顕彰会

前回公演「岩手弁で宮沢賢治を語る会」の模様をYouTube（5分ダイジェスト）でどうぞ!!

◆今回語るのは…◆

第一部
岩手弁で語る
宮沢賢治

序 「注文の多い料理店」から
やまなし
祭の晩

第二部
母の愛と郷愁
新美南吉

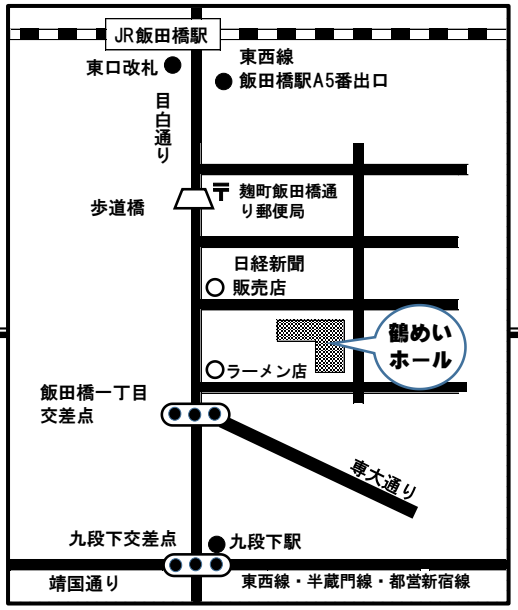
天 国
狐
最後の胡弓弾き

◆語り◆ 盛岡語りの会 雪ぼっこ

児童文学評論家 赤木かん子氏プロデュースの澤口と藤澤の二人組語りユニット。「ぼっこ」は岩手弁で「こども」のこと。

● **澤口杜志** （うすゆきそう文庫代表）
長年にわたる文庫活動が評価され平成 26 年度子どもの読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰受賞。
わらべうた、ストーリテリングを通し子どもの読書推進に取組む。全日本語りネットワーク会員。

● **藤澤陽子** （語りの会 風楽堂 主宰）
語りをひとり語りのパイオニア古屋和子氏、発声を和・アカデミー藤田京子氏、図書館改造他を赤木かん子氏に師事。H30 日本文藝家協会にて独演会。R3 全国公共図書館研究集会にて基調講演。JPIC 読書アドバイザー。全日本語りネットワーク会員。
この本だいすきの会岩手支部長 雫石と宮澤賢治を語る会会員。



◆特別出演◆ 木村俊介（和楽器）

和楽器奏者（笛・三味線他）として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民族芸能の旋法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに、世界５大陸３５ヶ国以上の音楽祭に招聘出演している。2020 年より、エッセーと CD による会員制季刊誌「音之文（オトシブミ）」を発行。
〈木村俊介 website〉http://insyo.kmlw.net

鶴めいホール
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-5-4 電話 03-6272-8080

飯田橋駅から
JR 総武線飯田橋駅東口改札徒歩 10 分
南北線・有楽町線・飯田橋駅より徒歩 10 分
東西線飯田橋駅 A5 出口より徒歩 5 分

九段下駅から
東西線・半蔵門線・都営新宿線 九段下駅３a・３b・５番出口より徒歩４分